

工業蒲田

東 京 都 大 田 区 蒲 田 3 7 3 2 (3) 番 地 1 7 8 2 1 号
 東 京 都 大 田 区 蒲 田 3 7 3 2 (3) 番 地 1 7 8 2 1 号
 東 京 都 大 田 区 蒲 田 3 7 3 2 (3) 番 地 1 7 8 2 1 号

年頭ご挨拶



蒲田工業協同組合 理事長 増田道造

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 組合員並びに本組合の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えになられたこと心からお慶び申し上げます。
 旧年中は組合並びに本組合に格別のご支援とご厚情を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。
 年頭にあたり、昨年を振り返り、まずと時節の足取りが一段と早く

感ぜられ、年往の出来事などは数年前のこのような感じになりました。それが特長の一年ではなかったかと思えます。
 アメリカの中間選挙では十二年ぶりに民主党が上・下院とも多数党となり、長引く原資材高騰に加え、日本経済への影響など懸念されます。
 「中小零細企業のまち」大田区工業の趨勢は、事業所数・製造品

出荷額・従業者数の何れについても右肩下りの傾向が続いています。これは各団体、組合においても同じことが言え、抱える問題も共通しています。
 こうい時代だからこそ、知恵を出し合って正しい情報を共有し、ギブ&テイクでチャレンジして行くべきではありませんか。
 今年「工業蒲田」は組合、木

部分の抜粋を掲載しました。講師の全体の意図から若干ずれるかも知れませんが、このような講演、勉強会などに少しでも興味を持っていただければとの思いで試みしました。各イベント、勉強会など組合員各位のご参加を切に希望します。
 今年も引続き組合事業活動の活性化、本組合活動など、昨年以上の更なる飛躍を目指して取組みたいと考えております。力をつけてきた若手の行動力、感性、挑戦意欲などの更なる飛躍に少しでも力になれるよう全力でチャレンジしたいと思っております。
 組合員並びに本組合の皆様へ引続きのご指導、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

史観の問題、今後始まる大連立という政界再編成。憲法改正を巡って自民党と民主党がどんな草案を出すのか。自民党草案は昨年十一月に出してきましたが、自民党はと今問われている。
 「大連立」これは必ず実現しなければ。自民党と民主党が限定的であつても同じ政権に身をおかないと日本の改革は出来ません。この国も近代的な「大政制」になる前には全議席の三分の二を占めるような大連立政権になり、一度一緒になってまた別れる。自民党は自民党のまま民主党は民主党という政党のまま連立政権を組むのです。相手の政党の足を引くようなことをしたら選挙に勝つて国としての大きな選択ができなくなる。
 一つは「憲法改正」そして「年金改革」。年金の抜本的な改革を超党派でやらなかった事例はありません。何十年も先の国民の生活を決定づける大テーマですから、国民に媚を売るようなことを一方の政党が言い出さずはいいけない。細かい手直しは良いとして、抜本的改正をやるというときは一致しないと出来ません。
 「財政再建」もそうです。大きな政府型から小さな政府型に移ろうという時には一種の大連立が必要で、それから野党が全然政権をとった経験がないままに政権交替というのは選挙民は怖くてそんな選択ができません。この国も形は少しずつ違いますが、皆経験しています。この大連立が向かう動きが今年起こるかどうかがです。大連立に向かうには民主党の中が相当整理整頓されないと行けません。旧社会党に属する人は何処かに行かざるを得ない。前原さんとは一緒には行けません。

自民党のなかでも山崎さんや加藤さんなどではもう身動きが取れなくなつてくるでしょう。近代的に政策の根本的なあり方を中心にして政党の色分けをしないと国民も選挙で選べない。小選挙区制をとつた目的も叶わない。憲法改正も全く緒につかないわけです。今年どれくらい前進するか大問題です。これも日本のこれまでの政治には一度もなかった。
 結局中国の話にしろ大連立にしろ皇室典範にしろ戦後直面したことはないことばかりです。明治時代以来なかったことです。今の憲法は作つてくれといわぬのに勝手にマッカーサーが作つてくれた。或いは中国も二十世紀の中国は乱れた時代、とんでもない国になつて最後の二十年位で正気に戻つて日本との関係も生まれた。しかし難しい問題を生み出してきて靖国問題、東シナ海のガス田問題、国連安保理問題。事々に日中がぶつかるのは何故なのか。
 こうい問題を考えるとき日本の国柄みたいなことが関わってくる。中国は近くだしよく似ている。歴史的な付き合いも長い。しかし根本が違うということを忘れてはならない。最近ですと上海の日本総領事館で暗号を組む重要な任務をしていた日本の外交官が中国公安当局の女性との関係をネタにした脅しによって外交機密を中国側に漏らすように圧力をかけられたことが大問題になった。厳しい風紀取締法という古い時代の法律がそのまま生きている国です。外国人を諜報目的で使うときは女性を使うのが常套手段ですから、外交官、新聞記者、ビジネススマン、学者、絶対ご法度です。中国といふのは体制の違う国。観光で行くのは庶民だと思つても使い道があ

目次

- ① 「年頭ご挨拶」
- ② 「講演会抜粋集」
- ③ 「新春講演会 賀詞交歓会」
- ④ 「組合員だより」
- ④ 「業務報告」
- ④ 「掲示板」
- ⑤ 「年賀広告」
- ⑥



平成十八年 講演会 抜粋集

一月十日(火) 京都大学教授 中西輝政先生 「二〇〇六年—日本の展望」 より一部抜粋

煎じ詰めれば今年の大きな問題は、この何年間か我々に突きつけられている「中国はどうか、中国とは何なのか」これはポスト小泉にも関ります。北京五輪に向けての助走からスピードを増して行く中国経済、大きな視野で考

えらうとするのか。教育の問題、歴史観の問題、今後始まる大連立という政界再編成。憲法改正を巡って自民党と民主党がどんな草案を出すのか。自民党草案は昨年十一月に出してきましたが、自民党はと今問われている。
 「大連立」これは必ず実現しなければ。自民党と民主党が限定的であつても同じ政権に身をおかないと日本の改革は出来ません。この国も近代的な「大政制」になる前には全議席の三分の二を占めるような大連立政権になり、一度一緒になってまた別れる。自民党は自民党のまま民主党は民主党という政党のまま連立政権を組むのです。相手の政党の足を引くようなことをしたら選挙に勝つて国としての大きな選択ができなくなる。
 一つは「憲法改正」そして「年金改革」。年金の抜本的な改革を超党派でやらなかった事例はありません。何十年も先の国民の生活を決定づける大テーマですから、国民に媚を売るようなことを一方の政党が言い出さずはいいけない。細かい手直しは良いとして、抜本的改正をやるというときは一致しないと出来ません。
 「財政再建」もそうです。大きな政府型から小さな政府型に移ろうという時には一種の大連立が必要で、それから野党が全然政権をとった経験がないままに政権交替というのは選挙民は怖くてそんな選択ができません。この国も形は少しずつ違いますが、皆経験しています。この大連立が向かう動きが今年起こるかどうかがです。大連立に向かうには民主党の中が相当整理整頓されないと行けません。旧社会党に属する人は何処かに行かざるを得ない。前原さんとは一緒には行けません。

自民党のなかでも山崎さんや加藤さんなどではもう身動きが取れなくなつてくるでしょう。近代的に政策の根本的なあり方を中心にして政党の色分けをしないと国民も選挙で選べない。小選挙区制をとつた目的も叶わない。憲法改正も全く緒につかないわけです。今年どれくらい前進するか大問題です。これも日本のこれまでの政治には一度もなかった。
 結局中国の話にしろ大連立にしろ皇室典範にしろ戦後直面したことはないことばかりです。明治時代以来なかったことです。今の憲法は作つてくれといわぬのに勝手にマッカーサーが作つてくれた。或いは中国も二十世紀の中国は乱れた時代、とんでもない国になつて最後の二十年位で正気に戻つて日本との関係も生まれた。しかし難しい問題を生み出してきて靖国問題、東シナ海のガス田問題、国連安保理問題。事々に日中がぶつかるのは何故なのか。
 こうい問題を考えるとき日本の国柄みたいなことが関わってくる。中国は近くだしよく似ている。歴史的な付き合いも長い。しかし根本が違うということを忘れてはならない。最近ですと上海の日本総領事館で暗号を組む重要な任務をしていた日本の外交官が中国公安当局の女性との関係をネタにした脅しによって外交機密を中国側に漏らすように圧力をかけられたことが大問題になった。厳しい風紀取締法という古い時代の法律がそのまま生きている国です。外国人を諜報目的で使うときは女性を使うのが常套手段ですから、外交官、新聞記者、ビジネススマン、学者、絶対ご法度です。中国といふのは体制の違う国。観光で行くのは庶民だと思つても使い道があ

三月十四日(火)

ジャーナリスト 花岡信昭氏

「政治・経済情けないニッポン」

より一部抜粋

あの偽のメールは誰が見てもおている。松浪さんが本会議場で水かきしと解る内容で、ワープロで...

ん。やることはいつばいあつたはずなのに、何も達することができないうちにメール問題で引つかか...

偉い、強いと思つている。今、東アジアにどんなに進出して来ているかに...

論のこと重鉛、鉛、ニッケル、白金も押し並べて更に上昇していくと思つています。

政治の世界は金が動くのは確かです。動く時は億単位で動く。...

政治の情けなきガセネタメー、経済の情けなきホリエモン、...

日米関係どうするか。日米同盟どうするか。今最大のテーマはこれ...

入っているヒズボラというグループがあつてレバノンの中では人気が高くレバノンに閣僚を二人出し...

五月十八日(木)

国際エコノミスト 金森 薫氏

「日本経済今後の動向」

より一部抜粋

「額に汗して物を作る」それが一番尊いことだと我々は子供の頃から教わつてきた。これが人間の...

一次産品の値段がポン上がりつつあります。日本の場合それを吸取...

年かけて七・七五位まで行くと思つて行きます。そうすると香港と人民元...

この三つとも崩れてきている。ベネズエラはアメリカの飛行機の...

民主党の幹部が何人も集まつて決めたわけですが、これを政治心理...

「額に汗して物を作る」それが一番尊いことだと我々は子供の頃から教わ...

年かけて七・七五位まで行くと思つて行きます。そうすると香港と人民元...

この三つとも崩れてきている。ベネズエラはアメリカの飛行機の...

永田議員は懲罰動議四回戻らつたからこれにかかつてしまった。

「額に汗して物を作る」それが一番尊いことだと我々は子供の頃から教わ...

年かけて七・七五位まで行くと思つて行きます。そうすると香港と人民元...

この三つとも崩れてきている。ベネズエラはアメリカの飛行機の...

六月十三日 (火)

五色塾 代表 小川 誠氏

「青少年問題の核心は 生命力を高めること」

より一部抜粋

鍛えた苗を耕した田んぼで作ったらどうなるか。耕した田んぼはイコール良い環境でしょうか。何の意味で良い環境かということなの

新春講演会 新春賀詞交歓会

蒲田工業協同組合 同 木鶏会

明けておめでとございま

皆さ方方には、ご健勝にて平

旧年中は、格別のご高配ご支

さて、恒例の新春講演会並び

講師には、新春の顔、京都大

新春早々ご多用中のことと存

新春講演会

日時 平成十九年一月九日(火)

午後五時～六時三十分

会場 ア・ペア

講師 京都大学教授

中西輝政先生

テーマ 北朝鮮、核実験後の

内外情勢

新春賀詞交歓会

日時 平成十九年一月九日(火)

午後六時四十分

会場 ア・ペア

会費 六千円

講演会のみご出席の方は、三千

円のご負担をお願い申し上げます。

す。植物の場合には単純なものです。識がどれだけ目覚めているか五感

まったく同じことが子育てと

この頃から実は生命力が無くな

法・無謀・無茶苦茶それから全部

体が作ることとは勿論なのですが

は非常に疑問を感じます。車が通

命を守るから始まって、意

ていた子供が違った人間に見えて

はスバゲイ、ハンバーグ、グラ

鉄鋼の話、日本の株価の話、エ

中国は更にUAEのドバイに

ののやりました。「アフリカ諸

ののやりました。アフリカ諸

ののやりました。アフリカ諸

改革委員会は対外投資という名の

ののやりました。アフリカ諸

ののやりました。アフリカ諸

ののやりました。アフリカ諸

ののやりました。アフリカ諸

ののやりました。アフリカ諸

ののやりました。アフリカ諸





新組合員の紹介
先の方が新しく組合に加入されましたのでご紹介申し上げます。

記

大進精機株式会社

代表取締役 富田 実

住所 大田区南六郷

電話 三・一四・一六

業種 機械製造業

富士馬鋼業株式会社

代表取締役 富川 正雄

住所 大田区多摩川

電話 一三六・一五

業種 切削工具・耐摩耗部品

製造販売

株式会社マサオプレス

代表取締役 宮澤 正男

住所 川崎市川崎区塩浜

電話 〇四四・二七〇・二四〇〇

業種 プレス加工

試作レーザ加工

代表者変更

ジャパンワイエーション

サービス株式会社

旧代表者 多田 正男

新代表者 寺内 征一

株式会社マコメ研究所

旧代表者 清水 茂治郎

新代表者 植村 邦哉



工場見学

業務報告

株式会社ユニプレス

旧代表者 島海 廣義

新代表者 仁藤 哲

木戸 美年氏

株式会社中央テクニカ会長はご逝去されました。謹んでご報告申し上げます。

鈴木 福男氏

当組合監事・株式会社極東精機製作所社長鈴木健一氏(尊父)はご逝去されました。謹んでご報告申し上げます。

新代表者 寺内 征一

株式会社マコメ研究所

旧代表者 清水 茂治郎

新代表者 植村 邦哉

一月十日

1新春講演会

講師 京都大学教授

テーマ 二〇〇六年

日本の展望

2新春賀詞交歓会

2月十四日

正副会長会議及び定例経営サロ

ン(木鶏会)

1平成十七年度決算報告について

平成十八年度予算案について

全員異議なくこれを承認

2木鶏会総会開催日並びに講演会

講師について

開催日 平成十八年三月十四日

(災)

会場 ア・ペア

講師 ジャーナリスト

花岡信昭氏

3定例経営サロン

海老名信裕氏担当

三月十四日

1木鶏会総会

2講演会

講師 ジャーナリスト

テーマ 政治・経済

情けないニッポン

3懇談懇親会

会場 ア・ペア

四月十一日

定例経営サロン(木鶏会)

田村知之氏担当

五月九日

常任理事会

1平成十七年度事業報告・決算報

告・剰余金処分案承認の件

全員異議なく承認

2平成十八年度事業計画案・収支

予算案承認の件

全員異議なく承認

3平成十八年度借入最高限度額決

定の件、一組員に対する最高

限度額決定の件、手数料最高限

度額決定の件

全員異議なく承認

4講演会

講師 国際エコノミスト

金森 薫氏

テーマ 日本経済今後の動向

5通常総会、講演会開催の件

開催日 平成十八年五月

十八日(木)

会場 ア・ペア

五月九日

理事会

議題は常任理事会日程のもの

全員異議なくこれを承認

五月九日

定例経営サロン(木鶏会)

荻野 茂氏担当

五月十八日

1平成十七年度通常総会

可決事項全員異議なく承認

2講演会

3懇談懇親会

五月二十日

懇親ゴルフ会開催(木鶏会)

場所 姉ヶ崎

カントリークラブ

六月十三日

定例経営サロン(木鶏会)

講演会



講演会

講師 五色塾

代表 小川 誠氏

テーマ 青少年問題の核心は

生命力を高めること

七月十一日

納涼経営サロン(木鶏会)

場所 オステリアウンパツ

七月二十・二十五・二十六日

定期健康診断の巡回

九月十二日

定例経営サロン(木鶏会)

講演会

講師 愛知淑徳大学教授

真田幸光氏

テーマ 激動の東アジア情勢が

日本経済に与え光と影

十月十日

工場見学

①(株)池貝

②岡田敦金(株)茨城工場

十一月十四日

正副会長会議及び定例経営サロ

ン(木鶏会)

1忘年会について

開催日 平成十八年十二月

十二日(火)

場所 玄海

2新春講演会について

開催日 平成十九年一月九日

(災)

場所 ア・ペア

講師 京都大学教授

中西輝政氏

テーマ 北朝鮮核実験後の

内外情勢

3定例経営サロン

増田道彦氏担当

十一月十五日

十五年以上勤続優良従業員に対

して区長から感謝状贈呈



忘年会

自動車ローン
グループ保険
のお申し込みは
組合へ

掲示板
年末・年始事務取扱のお知らせ
年末・年始の組合事務局の事務取扱日は左記の通りとさせていただきます。
記
年末 十二月二十八日(木)まで
年始 一月五日(金)から
十二月十二日
忘年会
以上八名
(社名五十音順 敬称略)
太産工業(株)社員
石田景一、氏家 猛、
清水 仁、長谷部美枝子、
山内光春、山崎 仁
(株)中央テクニカ社員
鈴木英樹
(株)東京精密器具製作所社員
吉田和男

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

蒲田工業協同組合有志

(五十音順)

機械器具製造業

尼寺空圧工業株式会社
代表取締役 尼寺 実

岡田 飯 金 株 式 会 社
代表取締役 増田 道造

株 式 会 社 弘 機 商 会
代表取締役 坪根 五久代

有 限 会 社 須 藤 製 作 所
代表取締役 須藤 敏男

大 成 工 業 株 式 会 社
代表取締役 鎮目 哲郎

株 式 会 社 タ ン ケ ン シ ー ル セ ー コ ウ
代表取締役社長 永井 彌太郎

東 亜 株 式 会 社
代表取締役社長 小柳 隆

株式会社東京精密器具製作所

代表取締役社長 西ヶ谷 好隆

株式会社中谷機械製作所

代表取締役 中谷 和彦

長坂 精 機 株 式 会 社

代表取締役 長坂 基秀

日本チエン・ギヤー無段変速機株式会社

代表取締役社長 加藤 進弘

深尾 精 機 株 式 会 社

代表取締役 中井 富士夫

有限会社富士精機製作所

代表取締役 荻野 茂

株式会社藤原製作所

代表取締役 藤原 徳一

株式会社文化精工

代表取締役 桑原 久直

電気機械器具製造業

太産 工 業 株 式 会 社

代表取締役 千葉 泰常

永森 電 機 株 式 会 社

代表取締役 永森 忠臣

輸送用機械器具製造業

荏原 工 業 株 式 会 社

取締役社長 長井 俊樹

株式会社大谷造機所

取締役社長 大谷 文雄

株式会社清川製作所

代表取締役 川瀬 純一

第一金属工業株式会社

代表取締役 菅谷 義弘

謹賀新年

蒲田工業協同組合

(五十音順)

相談役 西ヶ谷 勝美

理事長 増田 道造

副理事長 大谷 文雄

専務理事 小林 章彦

常任理事 荻野 茂

常任理事 須藤 敏男

常任理事 長井 俊樹

理事 新井 陽一

理事 岩崎 登喜雄

理事 海老名 信緒

理事 加藤 進弘

理事 斉藤 喜久雄

理事 菅谷 義弘

理事 竹内 榮多

理事 田村 知之

理事 鳥海 保男

理事 長坂 基秀

理事 野口 広

監事 飯室 肇

監事 鈴木 健一

監事 望月 直人

事務局長 沢登 正彰

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

蒲田工業協同組合有志

(五十音順)

(前頁より)

輸送用機械器具製造業

株式会社鳥海製作所

代表取締役 鳥海保男

株式会社ユタカ製作所

代表取締役 牧康行

金属製品製造業

有限会社相野谷製作所

代表取締役社長 相野谷栄治

有限会社川村製作所

代表取締役 川村有史

佐々木発條株式会社

代表取締役 佐々木毅彦

大進精機株式会社

取締役会長 宮田実
取締役社長 宮田正広

株式会社タムラエンジニア

代表取締役 田村知之

テイヴィバルブ株式会社

代表取締役 竹内榮多

同和発條株式会社

代表取締役社長 川嶋治彦

株式会社日産電機

代表取締役 中村國男

株式会社羽田パイプ製造所

代表取締役社長 野口広

有限会社早崎製作所

代表取締役 早崎吉春

有限会社富士テクノマシン

代表取締役 飯室肇

株式会社松原製作所

代表取締役 松原一喜

プレス・鋳金・製罐業

株式会社新井久四郎鉄工所

代表取締役 新井陽一

株式会社内田製作所

代表取締役 内田正勝

有限会社京浜プレス工業所

代表取締役 斉藤喜久雄

有限会社師岡鋳金製作所

専務取締役 師岡正雄

めつき業・アルマイト業

エビナ電化工業株式会社

代表取締役社長 海老名信緒

株式会社三協アルマイト

代表取締役 岩崎登喜雄

その他

株式会社エヌシーネットワーク

代表取締役 内原康雄

株式会社気球製作所

取締役社長 豊間厚

有限会社京浜铸造所

代表取締役 神道晃

労働衛生コンサルタント

佐藤事務所

産業医 佐藤精一

ジャパン・アヴィエーション・

サービス株式会社

代表取締役社長 寺内征一

株式会社中央テクニカ

代表取締役 木戸隆博

南旺工業株式会社

代表取締役 林隆史

株式会社日章機械

代表取締役社長 小林章彦

三津浜工業株式会社

代表取締役社長 木々津栄一



HACCP 高度化基準認定工場

となんのお料理をどうぞ

都南工業給食協同組合

大田区南六郷三十五ー一

TEL 三七三二一七四五(代)